

指定管理者のモニタリングシート

1. 基本情報確認年月日: 令和8年1月31日

施設名	道の駅もりおか渋民		
住所	盛岡市渋民字渋民80番42		
指定管理者名	道の駅もりおか渋民活性化グループ	所管課名	産業振興課
指定管理料(年額)	39,314,000円		
今回確認期間	令和 7 年 4 月 1 日 から令和 7 年 12 月 31 日 まで (9 ヶ月間)		

2. 業務の履行状況の確認について

(1)稼働実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		250	250
延べ利用者数		220,000	437,732
主要事業 開催回数	トイレ・情報提供施設の管理運営	毎日	毎日
	産直・物販施設の管理運営	1月1日を除く毎日	1月1日を除く毎日
	フューチャーセンターの管理運営	1月1日を除く毎日	1月1日を除く毎日
	貸店舗の管理運営	1月1日を除く毎日	1月1日を除く毎日
	レストランの管理運営	1月1日を除く毎日	1月1日を除く毎日

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適 ・ 要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適 ・ 要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適 ・ 要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適 ・ 要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適 ・ 要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適 ・ 要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適 ・ 要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適 ・ 要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適 ・ 要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適 ・ 要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適 ・ 要改善
管理 確保 能力	適正な人数の職員が配置されているか。	適 ・ 要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適 ・ 要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適 ・ 要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報 保護 報	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	適 ・ 要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適 ・ 要改善
	あらかじめ市に協議すべき事項について、適時に協議がされているか。	適 ・ 要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適 ・ 要改善

3. サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員 対応	職員の身だしなみは適切か	適 ・ 要改善
	利用者への対応のマナーは適切か	適 ・ 要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適 ・ 要改善
施設 管理	施設は清潔に保たれているか。	適 ・ 要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適 ・ 要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適 ・ 要改善
要 苦 望 情	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか	適 ・ 要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか	適 ・ 要改善
利用 促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適 ・ 要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適 ・ 要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適 ・ 要改善

4. 指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

・利用者にとって、わかりやすい案内掲示となるように開業後も施設内のサイン等の改良を実施 ・A棟トイレにハンドドライヤーを設置 ・国交省から小型除雪機を借用し、施設内の除雪をこまめに行い、冬場の環境整備を実施 ・GWのイベントや夏まつりでの花火観覧用栈敷席の設置、来場者30万人記念セレモニーなど、賑わいを継続させるための自主事業を実施 ・全戸配布を通じた地域住民へのイベント等の周知や、ホームページ・Instagramを使用してのPRの実施
--

5. モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
運営コンセプトである「つどう・つながる・つむぎあう」の実現に向けて、国道の利用者に満足していただける道の駅を目指すとともに、地元の盛岡市民の皆様に親しまれ、日常的に訪れていただける施設づくりを目指す。 このため、道の駅としての環境整備はもちろんこと、提供するサービスの質の向上や新しい価値を生み出す創造の場となることための取り組みを継続して実施していく。	令和7年4月の開業から、間もなく1年を迎えるにあたり、当初目標を大きく上回る来場者数、店舗売上ではあるが、ユニバーサルデザインの観点からの施設のあり方等、見えてきた課題も多いため、利用者の声に真摯に向き合いながら改善を進めていく。